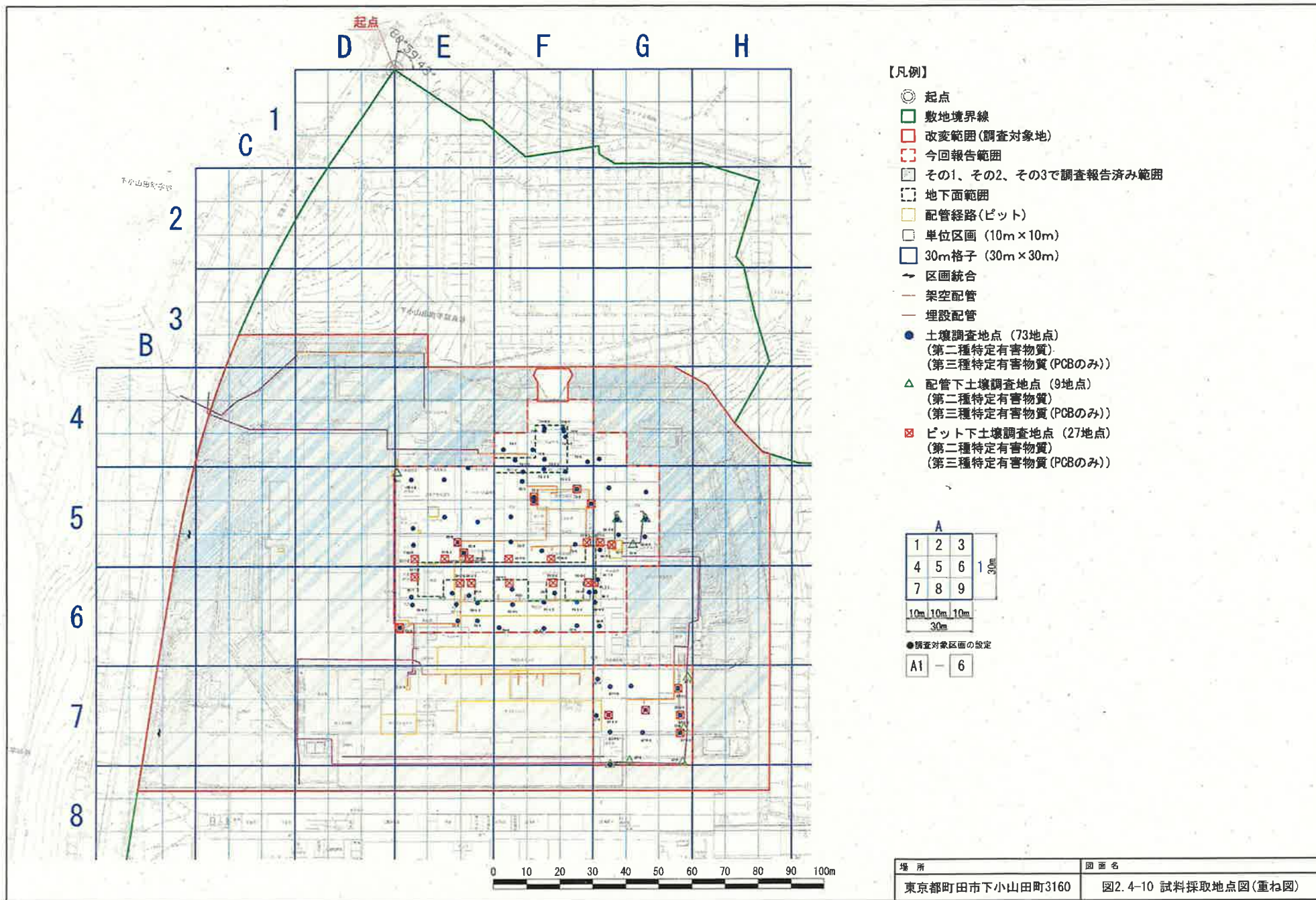


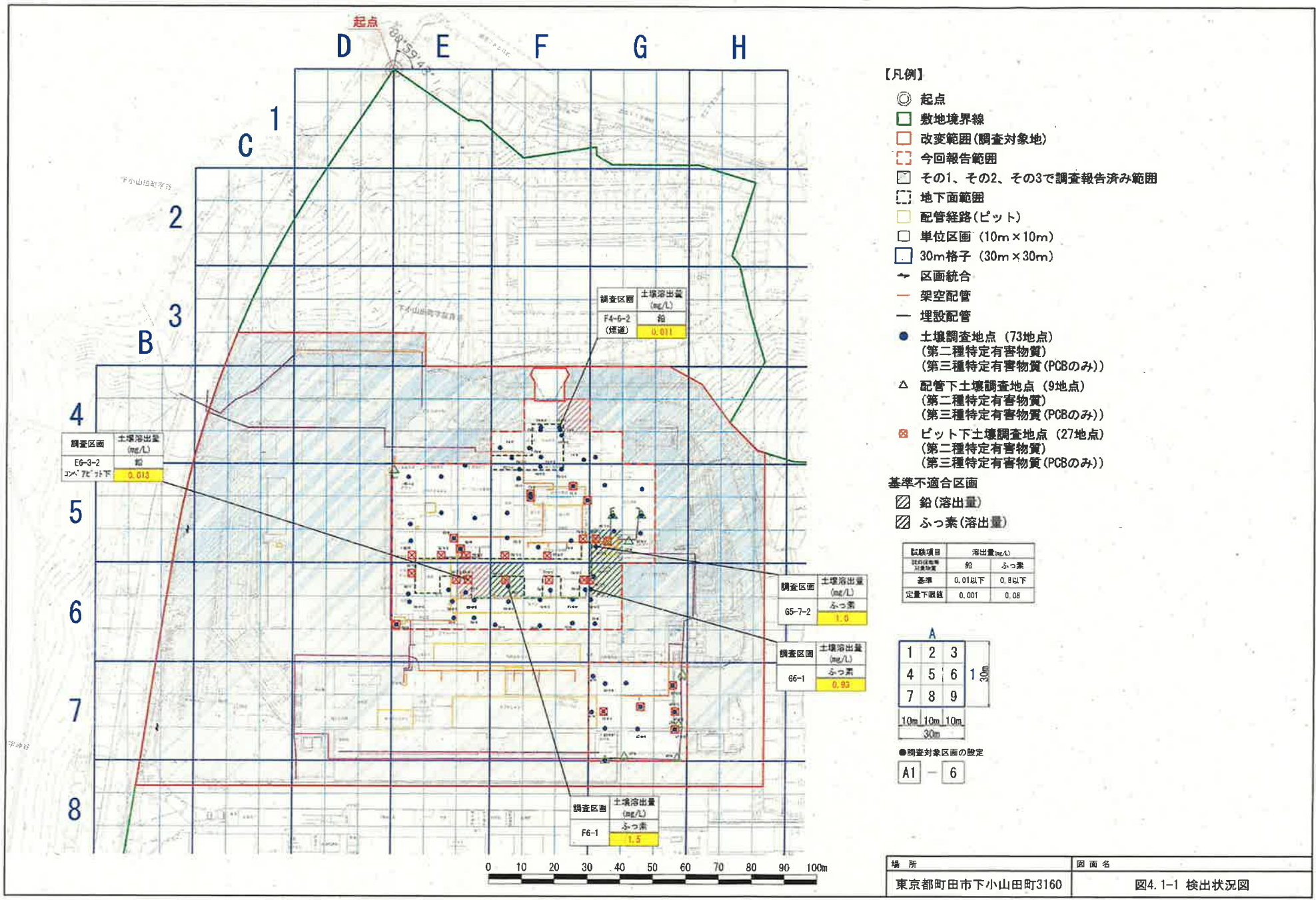
整理番号	整-34-2	指定年月日・指定番号	2023年2月27日・形-3	所在地	町田市下小山田町字富貴谷3156番、3156番2、3157番、3161番1、3161番2、3163番、3163番6、3163番7の各一部、下小山田町字谷3259番3、3260番4の各一部、図師町字一173番、174番の各一部	
調製・訂正年月日	2023年2月27日調製(新規指定)、2023年4月26日調製(追加指定)					
形質変更時要届出区域の概況	事業場敷地				面積	699 m ²
法第14条第3項の規定に基づき指定された形質変更時要届出区域にあっては、その旨			法第14条第3項の規定に基づき指定された形質変更時要届出区域である。			
最大形質変更深さより1メートルを超える深さの位置について試料採取等の対象としなかった土壌汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあっては、その旨、当該試料採取等の対象としなかった深さの位置及び特定有害物質の種類						
土壌汚染のおそれの把握等、試料採取等を行う区画の選定等又は試料採取等を省略した土壌汚染状況調査の結果により指定された形質変更時要届出区域にあっては、その旨及び当該省略の理由						
汚染の除去等の措置が講じられた形質変更時要届出区域にあっては、その旨及び当該汚染の除去等の措置						
第58条第5項第10号から第13号までに該当する区域にあっては、その旨						
形質変更時要届出区域内の土壌の汚染状態	報告受理年月日	指定に係る特定有害物質の種類		適合しない基準項目		指定調査機関の名称
	2022年12月12日 2023年3月10日	鉛及びその化合物		含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		ユーロフィン日本環境(株)
	2023年3月10日	ふっ素及びその化合物		含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		ユーロフィン日本環境(株)
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
				含有量基準・溶出量基準・第二溶出量基準		
土地の形質の変更の実施状況	届出(着手)時期	完了時期	土地の形質の変更の種類	実施者	土壌搬出	汚染土壌の処理方法
					有・無	
					有・無	
					有・無	

備考1 この用紙の大きさは、日本産業規格A4とすること。

2 「形質変更時要届出区域内の土壌の汚染状態」については、土壌その他の試料の採取を行った日、当該試料の測定の結果等を記載した書類を添付すること。



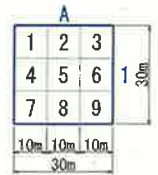




- 【凡例】
- ◎ 起点
 - 敷地境界線
 - 変更範囲(調査対象地)
 - 今回報告範囲
 - その1、その2、その3で調査報告済み範囲
 - 地下面範囲
 - 配管経路(ピット)
 - 単位区画(10m×10m)
 - 30m格子(30m×30m)
 - 区画統合
 - 架空配管
 - 埋設配管
 - 土壌調査地点(73地点)
(第二種特定有害物質)
(第三種特定有害物質(PCBのみ))
 - △ 配管下土壌調査地点(9地点)
(第二種特定有害物質)
(第三種特定有害物質(PCBのみ))
 - ⊠ ピット下土壌調査地点(27地点)
(第二種特定有害物質)
(第三種特定有害物質(PCBのみ))

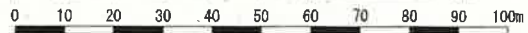
- 基準不適合区画
- ▨ 鉛(溶出量)
 - ▨ ふっ素(溶出量)

試験項目	溶出量(mg/L)	
試験標準 調査標準	鉛	ふっ素
基準	0.01以下	0.8以下
定量下限値	0.001	0.08

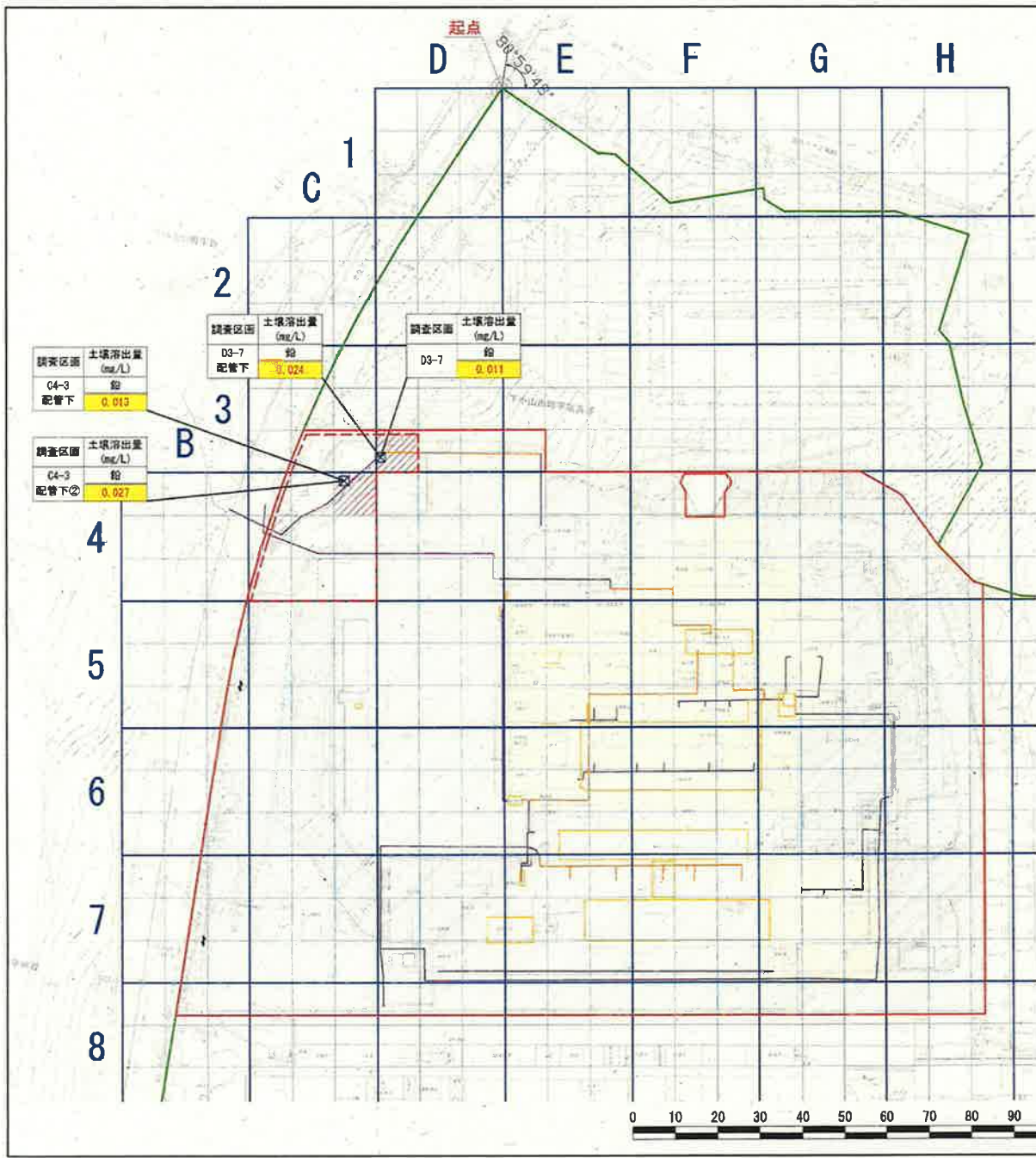


● 調査対象区画の設定

A1 - 6



場所	図面名
東京都町田市下小山田町3160	図4.1-1 検出状況図



【凡例】

- 起点
- 敷地境界線
- 変更範囲(調査対象地)
- 今回報告範囲
- その1、その2で調査報告済み範囲(汚染なし)
- 今後調査報告予定範囲
- 配管経路(ピット)
- 単位区画 (10m×10m)
- 30m格子 (30m×30m)
- 区画統合
- 架空配管
- 埋設配管
- ⊗ ボーリング地点 (2地点)

基準不適合区画

試験項目	濃度値(mg/L)
鉛	0.01以下
定量下限値	0.001

A			
1	2	3	10m
4	5	6	
7	8	9	

10m 10m 10m		
30m		

● 調査対象区画の設定

A1	6
----	---

備考：赤字は基準不適合を示す。

場所	四面名
東京都町田市下小山田町3160	図2.1-1 試料採取地点図

4. 調査結果

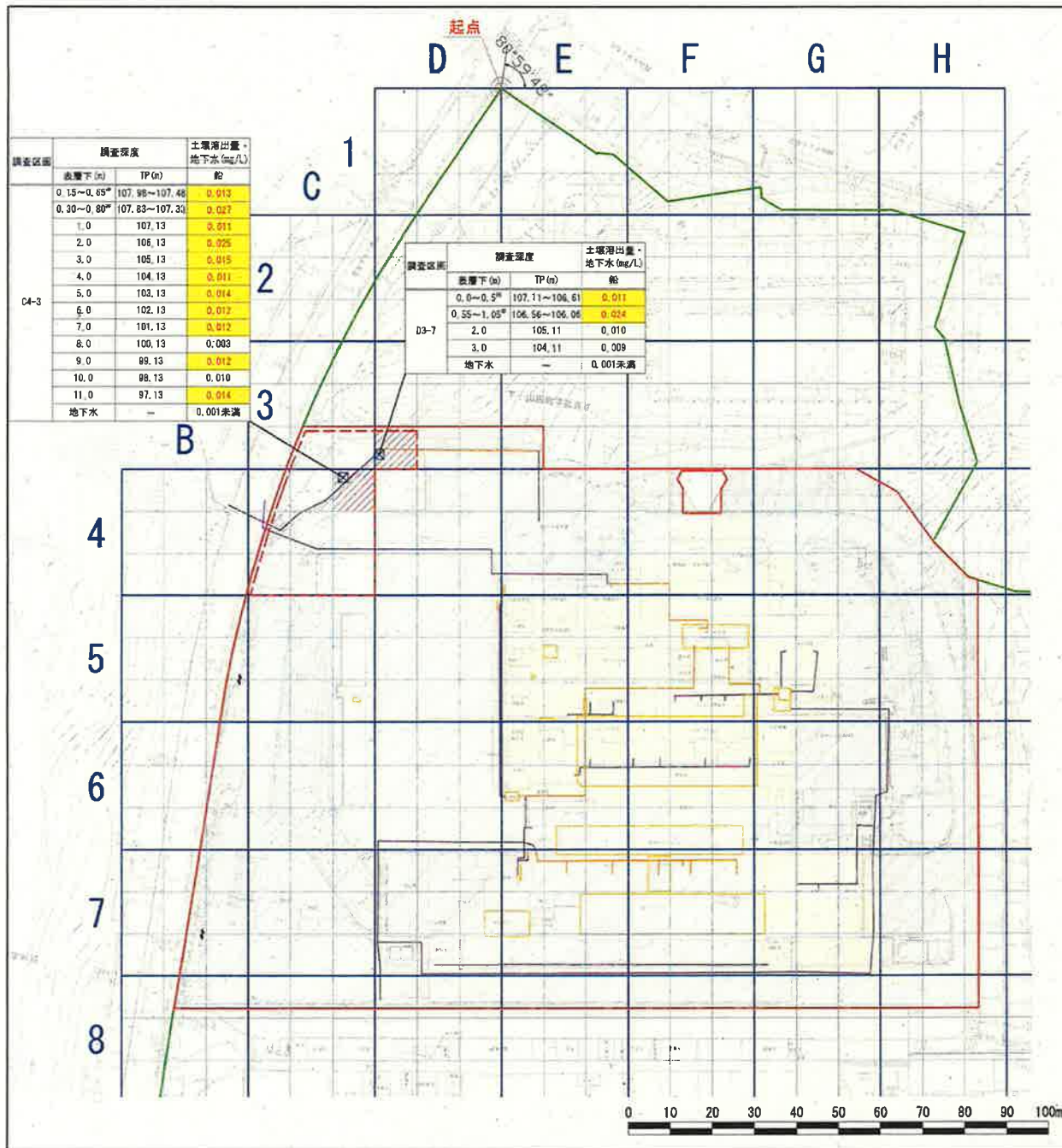
4.1. 詳細調査・地下水調査結果

詳細調査・地下水調査結果を表 4.1-1 に示す。検出状況図を図 4.1-1 に示す。

表 4.1-1 詳細調査・地下水調査結果

GL	C4-3		D3-7	
	TP	鉛及びその化合物	TP	鉛及びその化合物
		溶出量・地下水		溶出量・地下水
	(m)	(mg/L)	(m)	(mg/L)
表層	-	-	107.11~106.61	0.011
C4-3 配管下 (0.15m~0.65m)	107.98~107.48	0.013	-	-
C4-3 配管下② (0.30m~0.80m)	107.83~107.33	0.027	-	-
D3-7 配管下 (0.55m~1.05m)	-	-	106.56~106.06	0.024
表層下1.00m	107.13	0.011	-	-
表層下2.00m	106.13	0.025	105.11	0.010
表層下3.00m	105.13	0.015	104.11	0.009
表層下4.00m	104.13	0.011	103.11	-
表層下5.00m	103.13	0.014	102.11	-
表層下6.00m	102.13	0.012	101.11	-
表層下7.00m	101.13	0.012	100.11	-
表層下8.00m	100.13	0.003	99.11	-
表層下9.00m	99.13	0.012	98.11	-
表層下10.00m	98.13	0.010	97.11	-
表層下11.00m	97.13	0.014	-	-
地下水	-	0.001 未満	-	0.001 未満
溶出量基準	-	0.01以下	-	0.01以下
地下水基準	-	0.01以下	-	0.01以下
定量下限値	-	0.001	-	0.001

備考:赤字は基準不適合を示す。



調査区画	調査深度		土壌溶出量・地下水 (mg/L)	
	表層下 (m)	TP (m)	鉛	
C4-3	0.15~0.65*	107.98~107.46	0.013	
	0.30~0.80*	107.83~107.30	0.027	
	1.0	107.13	0.011	
	2.0	106.13	0.025	
	3.0	105.13	0.015	
	4.0	104.13	0.011	
	5.0	103.13	0.014	
	6.0	102.13	0.012	
	7.0	101.13	0.012	
	8.0	100.13	0.003	
	9.0	99.13	0.012	
10.0	98.13	0.010		
11.0	97.13	0.014		
地下水	-	0.001未満		

調査区画	調査深度		土壌溶出量・地下水 (mg/L)	
	表層下 (m)	TP (m)	鉛	
D3-7	0.0~0.5*	107.11~106.61	0.011	
	0.55~1.05*	106.56~106.06	0.024	
	2.0	105.11	0.010	
	3.0	104.11	0.009	
地下水	-	0.001未満		

【凡例】

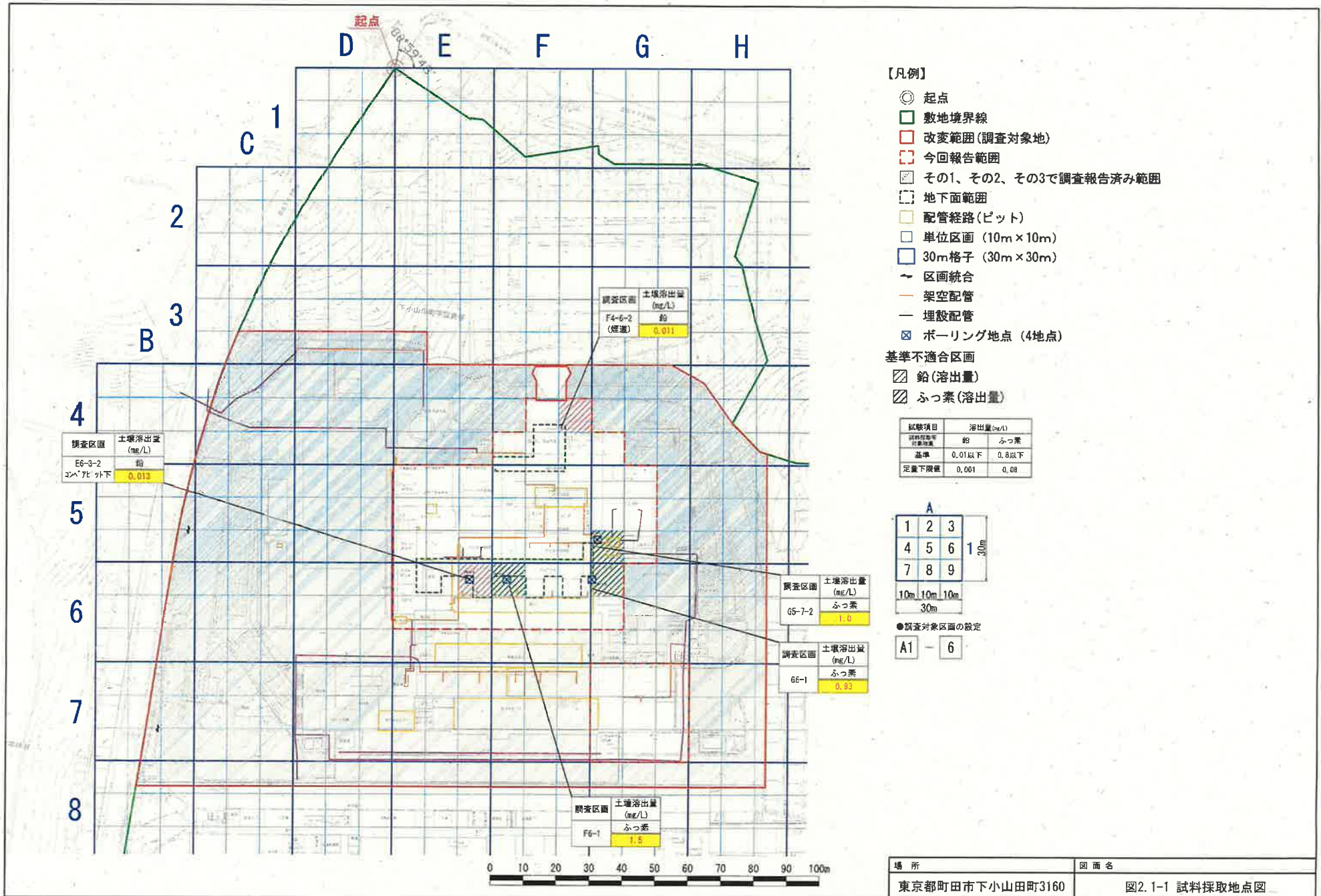
- 起点
- 敷地境界線
- 変更範囲 (調査対象地)
- 今回報告範囲
- その1、その2で調査報告済み範囲 (汚染なし)
- 今後調査報告予定範囲
- 配管経路 (ピット)
- 単区画 (10m x 10m)
- 30m格子 (30m x 30m)
- 区画統合
- 架空配管
- 埋設配管
- ⊗ ボーリング地点 (2地点)
- 基準不適合区画
- ▨ 鉛 (溶出量)

試験項目	溶出量・地下水 (mg/L)
鉛	鉛
基準	0.01以下
定量下限値	0.001



備考1: 赤字は基準不適合を示す。
備考2: ※は、概況調査時の、表層~表層下0.5mの分析結果を示す。
備考3: ※は、概況調査時の、配管下の分析結果を示す。

場所	区画名
東京都町田市下小山田町3160	図4.1-1 検出状況図



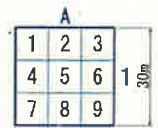
【凡例】

- ◎ 起点
- 敷地境界線
- 変更範囲(調査対象地)
- 今回報告範囲
- その1、その2、その3で調査報告済み範囲
- 地下水面範囲
- 配管経路(ピット)
- 単位区画 (10m×10m)
- 30m格子 (30m×30m)
- 区画統合
- 架空配管
- 埋設配管
- ボーリング地点 (4地点)

基準不適合区画

- 鉛(溶出量)
- ふっ素(溶出量)

試験項目	溶出量(mg/L)	
	鉛	ふっ素
基準	0.01以下	0.8以下
定量下限値	0.001	0.08



10m 10m 10m
30m

●調査対象区画の設定

A1 - 6

場所	図面名
東京都町田市下小山田町3160	図2.1-1 試料採取地点図

4. 調査結果

4.1. 詳細調査・地下水調査結果

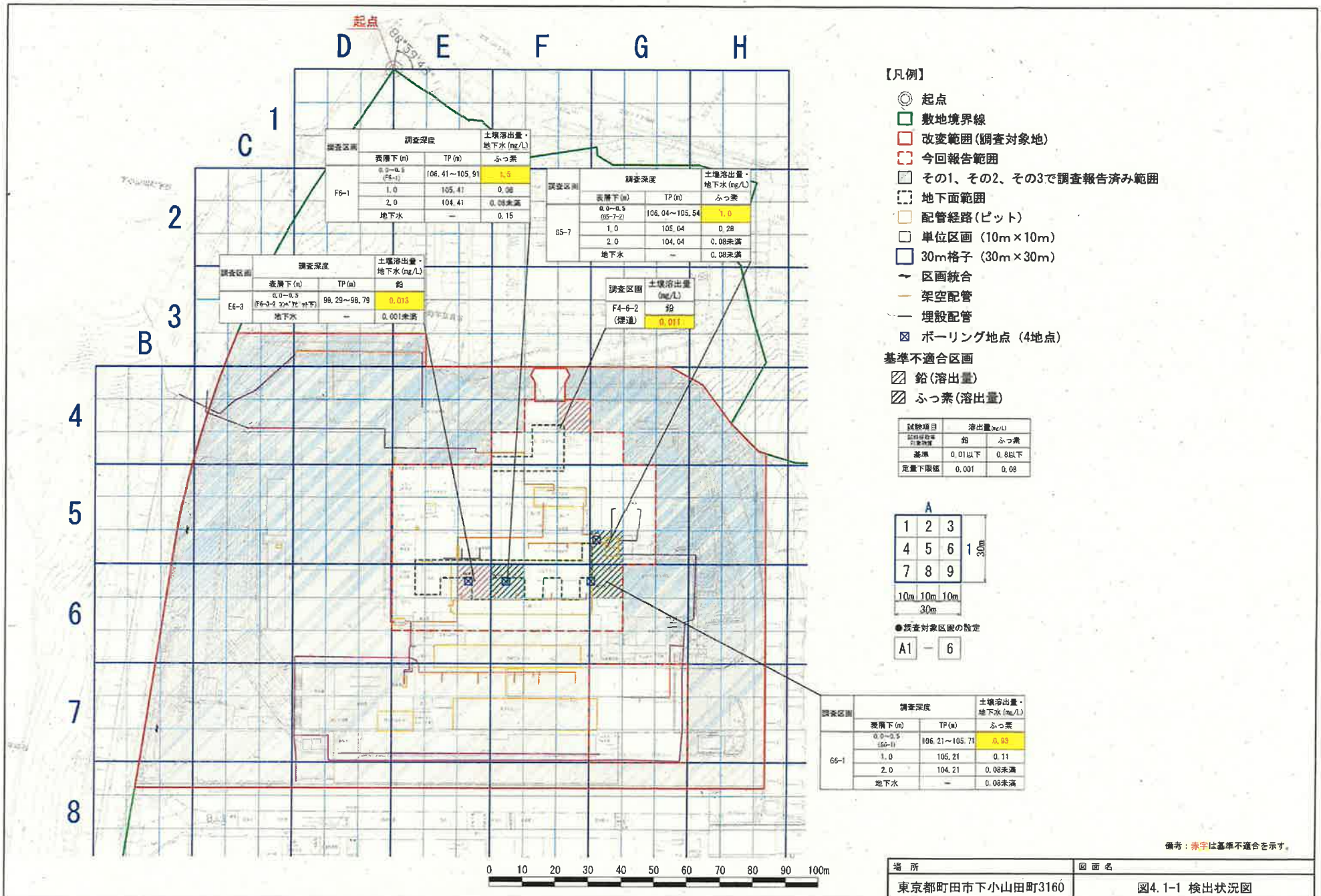
詳細調査・地下水調査結果を表 4.1-1 に示す。検出状況図を図 4.1-1 に示す。

表 4.1-1 詳細調査・地下水調査結果

	E6-3			F6-1	
	TP	鉛及びその化合物		TP	ふっ素及びその化合物
		溶出量・地下水			溶出量・地下水
	(m)	(mg/L)		(m)	(mg/L)
E6-3-2 コンベヤピット下	99.29~98.79	0.013	表層	106.41~105.91	1.5
地下水	-	0.001 未満	表層下1.00m	105.41	0.08
溶出量基準	-	0.01以下	表層下2.00m	104.41	0.08 未満
地下水基準	-	0.01以下	地下水	-	0.15
定量下限値	-	0.001	溶出量基準	-	0.8以下
			地下水基準	-	0.8以下
			定量下限値	-	0.08

	G5-7			G6-1	
	TP	ふっ素及びその化合物		TP	ふっ素及びその化合物
		溶出量・地下水			溶出量・地下水
	(m)	(mg/L)		(m)	(mg/L)
表層(G5-7-2)	106.04~105.54	1.0	表層(G6-1)	106.21~105.71	0.93
表層下1.00m	105.04	0.28	表層下1.00m	105.21	0.11
表層下2.00m	104.01	0.08 未満	表層下2.00m	104.21	0.08 未満
地下水	-	0.08 未満	地下水	-	0.08 未満
溶出量基準	-	0.8以下	溶出量基準	-	0.8以下
地下水基準	-	0.8以下	地下水基準	-	0.8以下
定量下限値	-	0.08	定量下限値	-	0.08

備考:赤字は基準不適合を示す。



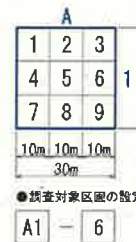
【凡例】

- ◎ 起点
- 敷地境界線
- 変更範囲(調査対象地)
- 今回報告範囲
- その1、その2、その3で調査報告済み範囲
- 地下面範囲
- 配管経路(ピット)
- 単位区画 (10m×10m)
- 30m格子 (30m×30m)
- 区画統合
- 架空配管
- 埋設配管
- ⊗ ボーリング地点 (4地点)

基準不適合区画

- ▨ 鉛(溶出量)
- ▨ ふっ素(溶出量)

試験項目	溶出量(mg/L)	
	鉛	ふっ素
基準	0.01以下	0.8以下
定量下限値	0.001	0.08



調査区画	調査深度		土壌溶出量・地下水(mg/L)
	表層下(m)	TP(m)	
66-1	0.0~0.5 (06-1)	106.21~105.71	0.93
	1.0	105.21	0.11
	2.0	104.21	0.08未満
	地下水	-	0.08未満

備考：赤字は基準不適合を示す。

場所	図面名
東京都町田市下小山田町3160	図4.1-1 検出状況図